
2025年度 事業計画書

(事業年度 2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日)



学校法人 福岡女学院

目次

2025 年度 事業計画について	2
I.福岡女学院（法人）	3
1. 教育の理念	3
2. 教学運営	3
3. 組織運営	3
4. 学生・生徒・園児在籍者数計画	3
5. 教職員人事計画	3
6. 財務・施設設備計画	3
II.福岡女学院大学・短期大学部	4
1. 教育の理念	4
2. 教学運営	4
3. 組織運営	5
4. 学生在籍者数計画	5
5. 教職員人事計画	5
6. 財務・施設設備計画	6
III.福岡女学院看護大学	6
1. 教育の理念	6
2. 教学運営	6
3. 組織運営	7
4. 学生在籍者数計画	7
5. 教職員人事計画	8
6. 財務・施設設備計画	8
IV.福岡女学院中学校・高等学校	8
1. 教育の理念	8
2. 教学運営	8
3. 組織運営	9
4. 生徒在籍者数計画	9
5. 教職員人事計画	10
6. 財務・施設設備計画	10
V.福岡女学院幼稚園	10
1. 教育の理念	10
2. 教学運営	10
3. 組織運営	11
4. 園児在籍者数計画	11
5. 教職員人事計画	11
6. 財務・施設設備計画	11

2025 年度 事業計画について

福岡女学院は 1885 年(明治 18 年)に米国メソジスト監督教会から派遣されたジェニー・ギール宣教師により創立された英和女学校から始まり、本年度創立 140 周年を迎えます。創立以来今日までキリスト教教育を基とする女子教育を実践し、現在は幼稚園、中学校、高等学校、大学、看護大学、大学院を擁する総合学園となっています。これまで多くの困難な状況を経験しながらも、今日まで教育事業を継続できたのは、福岡女学院の運営・経営に携わった先達の尽力と支えてくださっているすべての皆様のおかげであり深く感謝いたします。

2025 年度は第 2 次中期計画第 2 ステージの開始年度であり、改正私立学校法による学校法人ガバナンス改革を基盤として、学校運営及び学校経営の強化に取り組んでまいります。法人及び各学校における事業計画は、教育の理念、教学運営、組織運営、園児・生徒・学生在籍者数計画、教職員人事計画、財務・施設設備計画の計画項目で構成されています。

特に重点項目として、法人においては総合学園としての機能強化支援や学校運営を支える 財務基盤の強化など、大学においては改組・改編や地域に根差した大学機能の強化など、看護大学においてはシミュレーション教育のリーディング大学としての機能向上や社会連携・社会貢献の強化など、中学・高校においては新校舎建築を契機とした教育環境の整備や教員組織力の向上による教育内容の充実など、さらに幼稚園では保育環境の見直しによる保育実践や新しい子育て支援活動など、そのほか多くの計画を実践してまいります。

2025 年度事業計画の遂行に教職員一同尽力してまいります、引き続き皆さま方のご支援を よろしくお願い申し上げます。

2025 年 3 月

学校法人 福岡女学院

理事長 廣 田 りょう

院 長 守 山 恵 子

I.福岡女学院（法人）

1. 教育の理念

1. 建学の理念の継承
2. 年間方針の決定
3. キリスト教センター運営委員会の機能強化
4. 教職員の礼拝出席者数増加
5. 教職員への牧会活動

2. 教学運営

1. 地域・社会に貢献する教育機関としての維持・強化
2. 総合学園としての機能強化支援
3. 時代に対応可能な柔軟で強固な修学環境整備
4. 教育改革推進のための会議を設置
5. 学校長会議の毎月開催

3. 組織運営

1. 新体制の理事会、評議員会の適正運営
2. 教職員の就業環境、キャリアアップシステム整備
3. 事務局の業務運営改善の推進
4. 事務の効率化推進
5. 事務局組織力の活性化
6. 新しい働き方の実行
7. 学校運営のガバナンス強化への支援
8. 学院のブランドカアップのための検討
9. 140 周年創立記念行事の実行
10. 年史編纂委員会の設置
11. 危機管理マニュアルの整備

4. 学生・生徒・園児在籍者数計画

1. 学則定員の確保
2. 募集広報体制の強化

5. 教職員人事計画

1. 学院全体の適正教職数の検証
2. 全学院的な人件費のコントロール

6. 財務・施設設備計画

1. 健全な運営を支える財政基盤の強化

2. 財務シミュレーションに基づくキャンパスマスタープランの検証
3. 施設マネジメント委員会の運営活性化

Ⅱ.福岡女学院大学・短期大学部

1. 教育の理念

1. 理念と目的の点検・評価・改善計画
 - ・ 理念のキリスト教関連用語の定義・説明と合意形成
2. 理念と目的の共有促進
 - ・ キリスト教関連科目の強化の検討
3. 「学位授与の方針(現行)」の点検・評価・改善
4. 「学位授与の方針(2027)」の策定

2. 教学運営

1. 「教育課程編成・実施の方針(現行)」の点検・評価・改善
2. 「教育課程編成・実施の方針(2027)」の策定
3. 2027 年度改編に関わる申請業務
4. 2027 年度カリキュラムの策定(第 1 段階)
 - ・ 学部・学科カリキュラム
 - ・ 基盤教育カリキュラム
 - ・ 各教育課程における外国語教育の検討
 - ・ MDASH(リテラシーレベル・応用基礎レベル)導入の検討
 - ・ 学部・学科を横断した副専攻の設置検討
 - ・ 大学間連携に基づく新規授業等の導入の検討
5. 国内外大学との連携強化
 - ・ 連携先開拓
 - ・ 連携内容・方法の検討
6. 地域に根差した大学の在り方の検討
 - ・ 地元自治体・企業等との連携強化
7. 高大連携事業の拡充案策定
8. 学修意欲向上を促す教育プログラム導入の検討
 - ・ 教育プログラム案策定
9. アセスメントプランの点検・評価・改善
 - ・ 学修成果可視化システムの始動
 - ・ 成績による「学位授与の方針」到達度評価の検討
 - ・ 学生による自己評価システムの導入検討
10. 学修者支援
 - ・ 学生の状況に対応した履修期間の設定に関する検討

- ・ 学修者支援体制の点検・評価・改善
 - ・ Student Assistant 制度の活用案策定
 - ・ 留学生支援体制の強化策の検討
11. 認証評価中間報告作成
 12. 内部質保証システムの有効性強化

3. 組織運営

1. 教員配置案の点検・評価・改善
 - ・ 2027 年度カリキュラム施行時の点検・評価・改善
2. 教育関連センターの再構築
 - ・ 基盤教育運用に関わる組織(基盤教育センター(仮称)設置)案策定
 - ・ 学修者本位の修学環境支援体制構築
3. 学内連携体制の構築・整備
4. 教育研究組織の点検・評価
 - ・ 各種センターの機能向上に関する将来計画の策定
5. 卒業後の社会貢献支援体制の強化
 - ・ キャリア教育の在り方検討
 - ・ 進路就職支援の機能強化
 - ・ 教員採用試験志願者の支援の強化
 - ・ 正課外資格取得サポート体制の検討
6. I T 活用環境整備

4. 学生在籍者数計画

1. 「入学者受入れの方針(現行)」の点検・評価・改善
2. 「入学者受入れの方針(2027)」の策定
3. 選抜方法の点検・評価・改善
 - ・ 方針と入試形態の整合性検討
 - ・ 特待生選抜に特化した入試制度の導入の検討
 - ・ 総合型選抜の拡充に関する検討
4. 広報強化
 - ・ 広報戦略に基づく広報活動実施
 - ・ 広報活動での専門業者活用
 - ・ 広報活動での学内担当者連携強化
5. 入学試験実施体制の点検・評価・改善
 - ・ 入学試験実施に関わる規定等の点検・評価
 - ・ 入学試験実施方法の点検・評価・改善
6. 多様な学生受け入れ制度の検討

5. 教職員人事計画

1. 教員制度の点検・評価・改善
 - ・ 基幹教員制度の導入

2. 教育の質維持を目標とした人員配置

6. 財務・施設設備計画

1. 財務安定化
 - ・ 2026 年度収容定員充足率に基づく単年度予算編成
 - ・ 中長期財政計画の点検・評価・改善
2. 教育・研究環境の整備
 - ・ 設計・着工
 - ・ 設備等の検討
3. 教育研究等環境整備の点検・評価・改善
 - ・ 図書館の機能改善強化に関する中期計画策定

Ⅲ.福岡女学院看護大学

1. 教育の理念

キリスト教精神を基盤としたヒューマンケアリング女子教育の継続

2. 教学運営

1. 教育
 - 1) シミュレーション教育リーディング大学
 - ・ 領域横断シミュレーションの実施
 - ・ OSCE 導入検討
 - ・ 英語によるシミュレーション実施（1 回/年）
 - ・ 学生シミュレーションリーダー育成（10 名以上/年）
 - ・ BLS 国際ライセンス取得者（100 名/年）
 - 2) 教育の質向上
 - ・ 看護師国家試験合格率 100%
 - ・ 保健師国家試験合格率 100%
 - ・ 教育評価継続（授業満足度 8 割超）
 - ・ ミッションタウンブラッシュアップ（AI 導入検討）
 - ・ 国際化推進
 - ・ 海外研修受講者 合計 30 名/年
 - 3) 学生等への支援（修学環境整備）
 - ・ 食堂の再開
 - ・ スクールバス継続
 - ・ 学生自家用車許可継続
 - ・ 講義室のモニター・マイクの整備
 - ・ アドバイザーによる学修・就職支援（就職率 100%）
 - ・ ICT 活用した情報発信の充実

- ・ 保護者との連携（懇談会 2 回/年）
- 4) 学生・教職員連携制度強化
 - ・ 学生代表陪席委員会の増加（2 委員会以上）
 - ・ 学生・教員・職員懇談会継続（2 回/年）
- 5) 独自の学校行事の実施
 - ・ オリーブ祭の開催（参加者 30 名/回）
 - ・ 収穫祭（ミッションファーム）開催（参加者 30 名/回）
 - ・ 大学祭開催（参加者 300 名/年）
- 2. 研究
 - 1) 研究活動の促進
 - ・ 外部資金獲得のための研修会（1 回/） 年
 - ・ 外部資金獲得のための支援体制整備
 - ・ 科研費申請者（80%以上）
 - ・ 科研費獲得者率 25%以上
 - ・ 科研費獲得額（前年より増）
 - ・ 助成金獲得額（前年より増）
 - 2) 研究方針の規則整備
 - ・ 公的研究に関するコンプライアンス啓発活動実施（4 回/年）
- 3. 社会連携・社会貢献
 - ・ 公開講座開催（20 回/年）
 - ・ 防災セミナー開催（2 回/年）
 - ・ シミュレーション教育指導者育成セミナー開催（参加者 50 名/年）
 - ・ シミュレーションセンター見学者（20 名/年）
 - ・ 古賀市・福岡女学院看護大学臨地実習施設連携協議会開催（1 回/年）

3. 組織運営

組織力の強化

- ・ 領域横断的教育組織の強化
- ・ 各種委員会の見直し・改変
- ・ 内部質保証の推進
- ・ 情報公開や情報発信の推進

4. 学生在籍者数計画

学生受入

- 1) アドミッション・ポリシーに則った学生の受け入れに向けた、試験内容、回数の検討
- 2) 入試制度の改善継続（指定校推薦規則の見直し、入試日・試験方法の見直し、募集区域の拡大）
- 3) 広報活動の活性化
 - ・ オープンキャンパス、大学見学含めた参加者 500 名超え
 - ・ ホームページ、ソーシャルメディアの活用（インスタ登録者 1000 名超）
- 4) 入学生の確保
 - ・ 学部入学者：110 名

- ・ 競争倍率 1.1 倍以上
- ・ 大学院入学者 3 名

5. 教職員人事計画

人事・労務管理の適正化

- 1) 優秀な人材確保と適正な人員配置
 - ・ 本学が求める教員像及び採用方針の公表
- 2) 人材の育成（FD の充実）
 - ・ FD 研修開催（1 回/年）
 - ・ 教員評価制度の検討
- 3) 健康の保持増進
 - ・ 保健室の機能強化（看護教員の支援制度継続・改善）
- 4) 衛生委員会の強化

6. 財務・施設設備計画

1. 自己収入及び外部資金の獲得
2. 経費の効率化
 - ・ 財務委員会・財務ワーキングの二階建てチェック方式継続
3. 資産の適正管理及び有効活用
 - ・ 5.5（人件費）：3（教育・管理経費）：1（減価償却費）：0.5（備蓄）
 - ・ 積み立て目標 5000 万円
 - ・ 学生数と連動した適正教員組織制度の検討

IV.福岡女学院中学校・高等学校

1. 教育の理念

1. キリスト教教育の堅持・推進
 - 1) 宗教教育の理解醸成
 - ・ ミッション・スクールとして日々の礼拝、宗教行事の堅持。礼拝や宗教行事への教職員参加促進
2. 建学の精神の堅持・理解深化
 - 1) 「福岡女学院ならではの」感の追求
 - ・ スクール・ミッションの再確認とスクールポリシーの実践

2. 教学運営

1. 教育活動の充実
 - 1) 生徒の諸活動の支援
 - ・ 生徒個々の正課・正課外諸活動の支援・共有。生徒(グループ・団体他)、教職員の諸活動の支援・

共有

2) キャリア教育の推進

- ・「凛として花一輪プロジェクト」を中心とした探究学習の推進。同窓会、後援会との連携

3) 系列学校との連携推進

- ・大学・看護大学・幼稚園との協力進化

2. 教育環境の整備

1) ICT 環境等への安定的対応

- ・タブレット所持、Wi-Fi 環境の教育的活用と安定的運用

2) 新校舎建替を契機とした校内施設設備・備品等整備

- ・新校舎、改修施設に応じた備品等の整備。みらいのカタチ委員会を中心とした将来構想検討

3. ステークホルダーとの連携・地域貢献の充実

1) 保護者(後援会)・卒業生(同窓会)との連携強化

- ・教育的配慮の必要な家庭(保護者)への支援。後援会・同窓会の集まりへの参加・交流、授業・行事開放、日常からの意見交換の実施

2) 地域(産官学含)との連携強化

- ・協定締結先との交流促進、生徒の生活安全に係る取り組みについて地域・地元警察と連携

4. 校務支援システム等の安定的運用

1) 校務支援システムの有効活用推進

- ・校務支援システムの WEB 出願、広報行事受付・管理、出欠管理等の機能の安定的運用と迅速な連絡体制の構築

2) 校納金・勤怠・連絡システム等の活用推進

- ・新校納金システムの安定的運用、勤怠システム活用による紙媒体削減、GoogleForm による各種アンケート実施による効率化と利便性の向上

3. 組織運営

1. 教員の資質・指導力の向上

1) 教員目標管理シートの活用・研修の奨励

- ・目標 4 項目(学力向上・生徒指導・校務分掌・生産性向上)の目標設定と自己評価、フォルダによる共有。校長による支援実施(研修だより・校長研修・校長裁量経費等)

2) 授業評価の実施と改善取り組み

- ・授業評価アンケートの実施とフィードバック、取り組み実践の共有

2. 教員組織力の向上(教育内容の充実)

1) 適切な校務分掌と委員会活動の充実

- ・教科・学年・委員会・部活動等のバランスに配慮した人員の配置。委員会活動の共有・活用

2) カリキュラム委員会と学年・教科との連携・進路指導の強化

- ・学習・進路指導に係る教員研鑽と多様な進路保証支援。2025 年度からの新カリキュラムの検証

4. 生徒在籍者数計画

1. 生徒数在籍者計画の策定

1) 生徒数目標の設定

- ・2025 年度生徒数 中学 210 名・高校 415 名設定

2. 広報活動の充実

1) ホームページと SNS 配信の充実

- ・ HP 業者の変更。魅力ある基本情報と注目度の高い即時情報のバランスを考慮した情報配信

2) 広報行事の充実

- ・ 生徒主役で、新校舎を活用し魅力を感じられる校内広報行事の実施。私学協会・塾と連携した校外広報への参画

3) 中学校・塾との関係強化

- ・ 公立中学校、塾訪問を中心とした計画的で臨機応変な渉外活動による関係構築。公立中学校の本校見学会、校長講師派遣による交流促進

5. 教職員人事計画

1. 財務状況を踏まえ収支均衡を念頭に置いた教員人員計画の策定・執行

1) 教職員人員計画の確認、必要な計画の策定

- ・ 総教員数 50 名設定

6. 財務・施設設備計画

1. 財務状況を踏まえ収支均衡を念頭に置いた各種取り組みの実施

1) 経費節減と収支均衡に向けた計画・執行

- ・ 財政状況を配慮した予算策定・執行。コスト削減と補助金獲得に留意した取り組み実施

2) 建設等計画への対応

- ・ キャンパスマスタープラン見直しに留意した建築計画の確認、老朽箇所への対応

3) かがやく応援募金とかがやく基金への適切な対応

- ・ かがやく応援募金活動への適切な対応、連携。スタンドグラス設置等、かがやく基金の活用。

V. 福岡女学院幼稚園

1. 教育の理念

1. 保育環境の見直し・改善による保育実践

2. 70 周年記念新カリキュラム発行

3. 各リーダーによる特徴的保育の研究と実践の強化（自然環境・室内環境・食育・特別支援・絵本・満 3 歳児保育）

4. 保護者の保育参画の推進継続

5. 特別支援保育における他機関連携の在り方についての検討・実践

6. 幼小連携カリキュラムの見直し・実践

7. 総合学校の環境を生かした豊かな保育体験・学院の人材を生かした保育・保護者支援の実践

8. 業務の ICT 化の推進と発信の強化

2. 教学運営

1. 教育のリーダー意識・主体性の向上と組織強化

2. 園内研修や担当リーダーとしての研修の充実
3. 教職員の宗教教育の機会の充実と日曜礼拝推奨月の推進
4. 特別支援体制に関する広域的な研究開始
5. 預かり保育の整備（早朝預かり保育開始）

3. 組織運営

1. 適正な教員体制組織の研究
2. 防犯・防災対策・安全対策の為の環境整備（備蓄計画）
3. 本部事務関連業務との業務連携効率化検討整備

4. 園児在籍者数計画

1. 定員の100%充足
2. 新しい子育て支援活動・未就園児保育の実施と園児募集対策の実施
3. 70周年を記念した新たな広報活動（広報環境整備や発信）の充実
4. 新ホームページやSNSによる活発な発信

5. 教職員人事計画

1. 年齢バランス等を考慮した適正な採用計画の実行
2. 幼稚園再雇用制度の制定と長期人事計画の策定研修開催（1回/年）

6. 財務・施設設備計画

1. 新制度による適正な財政基盤の確立
2. 学院内施設を活用した子育て支援・広報活動の実施